

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	表皮水疱症の全国疫学調査			
2. 対象患者	下記の期間において、表皮水疱症のため受診された患者さん			
3. 対象となる期間	2019年 1月1日 ~2019年 12月 31日			
4. 実施診療科等	皮膚科			
5. 研究責任者	氏名	澤村大輔	所属	皮膚科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	弘前大学大学院医学研究科皮膚科学講座 澤村大輔、大阪大学再生誘導医学 玉井克人、東邦大学医学部皮膚科 石河晃、慶応大学医学部皮膚科 天谷雅行、名古屋大学医学部皮膚科 秋山真志、順天堂大学医学部衛生学 黒沢美智子、自治医科大学公衆衛生学 中村好一			
7. 研究の意義	表皮水疱症の原因解明は著しく進歩を遂げましたが、本邦における全国疫学調査は25年前に施行されたのが最後です。そこで、疫学調査で、本邦での現状を把握すれば、診断や治療の改善に寄与すると思われれます。			
8. 研究の目的	表皮水疱症の、現在の対象基準が現状に合致しているかどうか、病型の頻度、在宅処置の必要性、等について最新の情報を把握することが目的です。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	一次調査対象施設は、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医主研修施設、大学病院、病床500以上の総合病院、病床規模別に無作為抽出した病院、全国の子供病院、それぞれの皮膚科、約1000施設です。一次調査は郵送法にて2019年1月1日から12月31日に受診した診断基準を満たす表皮水疱症患者で、単純型、接合部型、栄養障害型、Kindler症候群、その他の患者数のみハガキに記入し返送いただきます。二次調査の対象は一次調査で症例のあった全施設で、二次調査票を発送します。二次調査の対象施設で、表皮水疱症と診断された患者さんの診療録から、患者さんの基本情報、診療録からあてはまる診断基準、重症度情報、皮膚症状や合併症の出現年齢、在宅医療に関する情報を抽出し、解析を行います。			
10. 個人情報の保護	試料は収集せず、診療情報を収集します。情報等は匿名化します(研究開始時に氏名、生年月日を記入せず、個人を特定できなくします)			
11. 利益相反に関する状況	本研究の実施にあたり必要な費用は厚生労働科学研究費補助金から支出されるため、利益相反はありません。			
12. 連絡先	大学院医学研究科皮膚科学講座 澤村大輔			
	電話	0172-39-5087	FAX	0172-37-6060